



利用者を見守る「シーサー」ちゃ〜びらさい! 新施設へのシーサー設置式



4月11日(金)、糸満市スポーツ観光交流拠点施設の陶製シーサー設置式および清めの儀式が行われました。設置されたシーサーは陶芸家の大城節子さんから寄贈され、寄贈にあたり大城さんは「この施設の利用者が、けがなく利用できるよと願いを込めてシーサーを作りました。設置されたシーサーが多くの人を守ってくれると思います」と笑顔を見せました。

満開の桜を願って 株式会社沖縄伊藤園からヒカンザクラの苗木寄贈

3月26日(水)、株式会社沖縄伊藤園からヒカンザクラの苗木が3本寄贈され、西崎運動公園で植樹式が行われました。同社による桜苗木の寄贈は2019年から始まり、これまでに全国47都道府県で合計1400本以上の桜が植樹されています。当日は地域貢献に取り組む西崎小学校ミニバスケットボールクラブ緑の少年団のメンバーも参加し、それぞれが桜に対する思いを発表しました。



みんなで楽しむ、地産地消♪ 第28回JAおきなわ糸満支店うまんちゅまつり

第28回JAおきなわ糸満支店うまんちゅまつりが4月19日(土)、道の駅いとまんで開催されました。当日は、JAおきなわ糸満支店の女性部によるサーターアンダギーとかき揚げの販売や、和牛改良組合の牛汁、山羊生産部会のヤギ汁販売のほか、市内の保育園児のダンスや糸満市出身アーティストによるライブなどのステージイベントが行われ、多くの来場者がまつりを楽しみました。

安全に登下校できるように 糸満市商工会女性部が交通安全おまもりを贈呈

3月28日(金)、市役所で糸満市商工会女性部から新小学1年生が安全に登下校できるようにと願いが込められた交通安全おまもりの贈呈が行われました。照喜名直美部長は「40年以上継続してきたおまもりの贈呈で、交通ルールの大切さを強く意識していただきたいという思いから手作業で製作し、白銀堂で交通安全祈願を行っています」と話しました。



天候に左右されない全天候型施設 糸満市スポーツ観光交流拠点施設落成式

糸満市スポーツ観光交流拠点施設の完成に伴う落成式が、4月19日(土)に同施設内で行われました。内閣府の補助金を用いて整備が進められた同施設は、天候に左右されずにさまざまなイベントや活動ができる全天候型施設であり、野球やゲートボール、フットサル及び保育園児の運動会などスポーツやイベントを行うことができます。落成式には内閣府沖縄総合事務局や沖縄県など、多くの関係者が参加し、当銘市長は「この施設が本格稼働することで、これまでの課題であった冬場の観光業振興に貢献するとともに、スポーツを通じた人材育成や市民の健康増進につながっていくものと期待しています」とあいさつをしました。

当日は、糸満高校ダンス部によるパフォーマンスが披露されたほか、市内で活動しているサッカーチームによるミニゲームが行われ、真新しい緑の人工芝の上を気持ち良さそうにプレーしました。



これまで培った経験を糸満市のために 太陽生命保険株式会社から人材派遣

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社から飯山明日香さんが、企業版ふるさと納税(人材派遣型)を活用して糸満市へ派遣され、4月1日(火)に市役所で当銘市長から辞令交付を受けました。辞令交付を受け、飯山さんは「これまで自社で培った知識や経験を生かして、糸満市に貢献できるように頑張ります。これから1年間よろしく願います」と話しました。



スローガン「てをあげて くるまにおしらせ ばくはここ」 令和7年春の全国交通安全運動出発式

4月6日(日)から15日(火)までの10日間、全国一斉に「春の全国交通安全運動」が展開されるにあたり、4月7日(月)、市役所で出発式が行われました。式典では、今年4月に小学校へ入学した仲門幸星さん、赤嶺新奈さん、大城優真さんの3人に交通安全ランドセルカバーが贈呈され、交通安全の誓いとして「道路で遊びません。横断歩道は手を上げてわたります。右左をしっかり見ます」と宣言しました。

